

松山市第2期 SDGs 未来都市計画(案)の概要

■ 計画策定の背景

SDGs は、持続可能な開発目標の略で、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17 のゴール、169 のターゲットが設定され、日本を含む各国は、それぞれの国で、自らの地域、そして世界レベルで SDGs の達成のために協力することが求められています。

国は、SDGs の達成に向け、推進本部を設置するとともに、実施指針やアクションプランの策定、SDGs 未来都市の選定など、SDGs を原動力とした地方創生を推進しています。

本市は、2020 年に SDGs 未来都市に選定され、国に提案した SDGs 推進の取組について具体化するため SDGs 未来都市計画を策定しました。

当該計画は 2022 年度末までの 3 年間の計画となっており、継続して取り組む必要があることから、第 2 期 SDGs 未来都市計画を策定します。

■ 計画期間 2023 年度～2025 年度

■ 将来ビジョン 【2030 年のあるべき姿】

安全で環境にやさしい 持続可能な観光未来都市まつやま

【2030 年のあるべき姿に向けたまちづくり】

- (経済面) 産業の活性化と交流・関係人口が拡大する、にぎわいがあり選ばれるまち
- (社会面) コンパクトで防災力も高く、多様な主体が活躍する安全安心で快適なまち
- (環境面) 協働が築く、豊かな自然環境と共生するまち

■ 取組概要

